

「電波高度利用シンポジウム2006」開催のお知らせ

総務省と社団法人電波産業会との共催により、ユビキタス社会の実現に向けて、「ミリ波によるイノベーション創出」をテーマに「電波高度利用シンポジウム2006」を、平成18年12月8日（金）に開催します。

1 概要

携帯電話や無線LAN等の移動通信システムの利用が増大するなか、電波利用ニーズはますます高度化・多様化しています。また、電波利用システムは、ユビキタス社会において中核的な役割を果たすものと期待されています。

このような状況の中で、総務省では新たな電波利用ニーズに的確に対応するため、現在、電波利用の進んでいない周波数帯（ミリ波帯等）において容易に無線システムの利用を可能とする技術等の研究開発を推進しています。

本シンポジウムは、国内外の専門家から講演をいただくことにより、このような取組みを加速し、ユビキタス社会の実現に資するために実施するものです。

2 テーマ

ミリ波によるイノベーション創出

3 開催日時及び場所

日時：平成18年12月8日（金）13時から17時まで

場所：明治記念館 富士1の間（東京都港区元赤坂2-2-23）

以下会場案内図をご参照下さい

主催：総務省、社団法人電波産業会

4 プログラム

以下「電波高度利用シンポジウム2006」プログラムをご参照下さい

5 申し込み方法及び参加費

申し込み方法：当ホームページよりお申し込み下さい。 [お申し込みはこちらへ](#)
。

なお会場の都合上、定員（250名を予定）になり次第締め切らせていただきますのでご了承下さい。

参加費：無料

意見交換会：シンポジウム終了後社団法人電波産業会の主催により、講師と参加者の意見交換会を開催いたします。多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。（立食形式で参加費無料）

お問合せ先：E-mail：frds-2006w-atmark-arib.or.jp

連絡先：社団法人 電波産業会

研究開発本部 周波数資源グループ

小岩井、波戸

TEL：03-5510-8593 FAX：03-3592-1103

（スパムメール防止のため、「@」を「-atmark-」に換えて表記しています）

「電波高度利用シンポジウム2006」
—ミリ波によるイノベーション創出—

プ ロ グ ラ ム

時 間	次 第	講 師（敬称略）
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00-13:05 (5分)	開会の挨拶	総務大臣政務官 谷口 和史
13:05-13:50 (45分)	講演1 「ミリ波CMOS —究極の無線システムへの挑戦—」	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 助教授 藤島 実
13:50-14:50 (60分)	講演2 「韓国におけるミリ波IC・モジュールの開発動向」	韓国 情報通信大学 インテリジェント電波工学センター 所長 Chul Soon Park
14:50-15:10 (20分)	（ 休 憩 ）	
15:10-16:10 (60分)	講演3 「欧州におけるミリ波のITSへの応用について」	ダイムラークライスラー研究所 シニアマネージャー Dr. Josef Wenger
16:10-16:55 (45分)	講演4 「ミリ波を用いたイメージング」	東北大学 名誉教授 電気通信研究所 水野 皓司
16:55-17:00 (5分)	閉会の挨拶	社団法人電波産業会 専務理事 若尾 正義
17:00	閉会	

（注）英語の講演には日本語の同時通訳が付きます。

17:05～ 意見交換会（電波産業会主催）

「電波高度利用シンポジウム2006」 会場案内図

(平成18年12月8日(金)13:00開会)

明治記念館案内図



- 電車：JR中央・総武線信濃町駅より下車徒歩3分
地下鉄（銀座線・半蔵門線）青山一丁目駅より下車（2番出口）徒歩6分
（大江戸線）国立競技場駅下車（A1出口）徒歩6分
- バス：都バス「権田原・明治記念館前」下車徒歩1分
（品97）品川車庫前 - 新宿駅西口
- 車：高速4号線（外苑出口）より1分
* 250台まで収容できる専用駐車場がございます